

石狩振興局 「地方創生セミナー」

人口減少を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持するためには、地域の大きな課題である少子化への対策を進めるとともに、地方への新しい人の流れをつくる必要があります。

こうしたことから、地域が直面している諸問題をテーマとし、今後の地域経営に活かしていただくことを目的にセミナーを開催します。

日時：平成27年9月11日（金） 13:30～16:00

場所：ホテルポールスター札幌 2階 セレナード
札幌市中央区北4条西6丁目 TEL011-241-9111

入場無料

定員：150名（先着順）

主催：北海道石狩振興局

講演：「日本の人口転換と札幌圏の少子化について」
札幌市立大学デザイン学部
教授 原 俊彦 氏



「日本版CCRC構想について」
株式会社三菱総合研究所
プラチナ社会研究センター長
執行役員 鎌形 太郎 氏



※CCRC: Continuing Care Retirement Community

※日本版 CCRC 構想：「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すもの。

申込期限：9月7日（月）

【お申し込み・お問い合わせ先】

参加ご希望の方は、参加申込書（裏面）に必要事項を記入の上、FAXまたは電子メールで下記までお申し込みください。

北海道石狩振興局地域政策部地域政策課（担当：富永）

E-mail：tominaga.yasushi@pref.hokkaido.lg.jp

FAX：011-232-1070 電話 011-204-5815

講師プロフィール

札幌市立大学教授 原 俊彦 氏

札幌市立大学教授。1953年東京生まれ。75年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。77年～82年独フライブルグ大学・哲学部第四類に留学、社会学・政治学・経済政策専攻、社会学博士（Ph. D.）。88年北海道東海大学国際文化学部助教授、95年同教授、2006年より現職。専門分野は、人口社会学、人口問題を中心とした社会統計分析、コンピュータシミュレーション・モデルの開発。現在、日本人口学会会長。

三菱総合研究所執行役員 鎌形 太郎 氏

株式会社三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター長執行役員。1982年慶応義塾大学経済学部卒業。専門は、都市・地域経営、高齢化問題、官民連携事業であり、日本におけるCCRC論に関する第一人者。

総務省の「ICT超高齢社会構想会議WG」や「スマートプラチナ社会推進会議幹事部会」、厚生労働省の「都市部の高齢化対策に関する検討会」の委員などを歴任。

主な共著に、「新」国富論 日本の成長は地方創生から始まる～フロネシス13号（共著、2015年7月ダイヤモンド社）、「シニアが輝く日本の未来～フロネシス10号」（共著、2013年11月丸善）。

申込期限：9月7日（月）

FAX

011-232-1070

このままFAX送信してください

平成27年9月11日開催 石狩振興局「地方創生セミナー」
参加申込書

団体名	
電話	

役職	氏名

【お申し込み・お問い合わせ先】

北海道石狩振興局地域政策部地域政策課（担当：富永）

E-mail：tominaga.yasushi@pref.hokkaido.lg.jp

FAX：011-232-1070 電話011-204-5815